

令和7年度 久屋小学校の教育

【学習指導要領】

・社会に開かれた教育課程の実現
・カリキュラム・マネジメント

学校教育目標

心豊かに かしく たくましく生きる子供の育成

【信頼される

学校づくり】

家庭、地域との連携
学び続ける職員集団
教育環境の整備

【しまね教育

魅力化ビジョン】

ふるさと島根を学びの
原点に
未来にはばたく心豊かな
人づくり

【めざす児童像】

- 優しい子・思いやりのある子
- 基礎・基本を身につけた子・主体性のある子
- 健やかな子・粘り強く取り組む子

【大田市

教育ビジョン】

わが里を誇り、大田
と世界の未来を拓く

学校教育重点目標

気づき 考え みんなで創り出す
～子供主体の学びの文化・くらしの文化の創造～

気づき

- 「なぜ。どうなってるの。」
 - 「泣いている人がいる。」
 - 「やってみよう。」
 - 「あいさつが気になるな。」
 - 「解決したい。」
 - 「全校、仲良くなりたいな。」
- ◎価値ある「気づき」から学習課題やめあてを醸成していく。

考え

- 単元・教材・題材との出会わせ方・学びのプロセスを描く。
- 学びのプロセスを大事にしながら、自分の方法で思考する（見方・考え方を働かせる）。
- 根拠をもって考え、言語化する。
- くらしを創る方法を考える。
- ◎主体的な思考・判断・表現の場を創る。

みんなで創り出す

- 友達と考えを交流し、多様な見方や考え方の獲得、思考・判断・表現の深化、学びやくらしに生きて働く知識・技能の習得を図る。
- 合意形成を図りながら、解決策を模索し、実践につなげ、成果・成長を実感する。
- ◎生きる支えとなる学力・協働性・自治性を育成していく。

重点目標実現のために

- 道徳教育の充実
- ふるさと教育の充実
- 特別支援教育の充実（学びの場の保障）
- 見方・考え方を働かせた授業の研究・実践
- 読書・ICT活用の積極的な推進
- 生徒指導の充実（児童会とのリンク）
- 健康教育・安全教育の推進

○人権教育の充実

学校運営協議会をもとにした「学校と地域のつながり」

○年3回の学校運営協議会の中で、地域の思いや願いを確認し、経営に活かす。

第2回は教職員との懇談会を実施し、授業や学級経営の現状について情報交換を行う。

○右の子供像に向かうための協議（6月学校運営協議会の中で具体策協議）。

○学校の取組への参画（遠足・授業公開・児童総会・学校行事・学校行事前練習など 月行事表を見て来校）。

○3回目の学校運営協議会の中で、次年度の学校経営（改善策）への参画の仕方を協議する。

○校内の困難な事案（児童の問題行動や不登校、教職員の不祥事 等）にかかわる連携した対応をしていく。

地域の願い

- ・大屋が 久利が 好きな子
- ・自信をもって 生きる子